

乳がんが治るとは？

～患者と医療者の視点の違いを考える～

乳がん以外のがんは“5年再発しなければ治った”と言われるのに、乳がんはホルモン治療が10年間の場合もある。通院を終了する時も、主治医は“病院を卒業ですね”と言い、“乳がんは治りましたね”ではない。一方、“〇〇でがんが治った・消えた”という情報は溢れています。画像で写っていないこと＝がんが治ったのではないのか、医療者はどのように考えているのか、患者はどう言われたら納得出来るか等を、事例から医療者と一緒に考えます。

このワークショップは、医療情報セミナーではありません。患者と医療者のコミュニケーションエラーが起きやすい場面についてテーマに合わせた事例を基にして患者と医療者が対等な立場で話し合います。医師以外のチーム医療に関わる方のご参加もお待ちしております。

日時 2025年 **2月8日** (土) 14:00～16:30 (予定)

定員 **乳がん患者 20名** (現地:若干名、オンラインは会員限定)
医療者 (医師、看護師、他 コ・メディカル、乳がんに関わっている方のみ) **10名**

会場 千葉市稲毛保健福祉センター ボランティア活動室1、2 (稲毛区役所隣り)
オンライン (会員、医療者のみ)

参加費 **無料** (一般参加は資料代500円)

申込方法 info@ivychiba.org まで、メールでお申し込みください。

- ①氏名 ②携帯電話番号 ③メールアドレス ④参加会場
⑤会員 or 一般 ⑥医療者の方は職種をご記入の上、
2月1日までに お申し込みください。

その他 先着順の受け付けです、満員の際はホームページに掲載します。
電話でのお申し込みも可能ですが出られない場合があります、ご了承ください。
お申し込みを頂いた方に、ログイン方法を前日までにメールでお知らせいたします。



お申込み用フォーム

参加予定医療者 (オンライン参加予定)

三階 貴史 北里大学病院 乳腺・甲状腺外科 医師
尾内 康英 成田赤十字病院 乳腺外科 医師
寺岡 晃 湘南台プレストクリニック 院長 医師
寺中 亮太郎 千葉大学医学部附属病院 プレストセンター 医師
山本 寛人 千葉大学医学部附属病院 プレストセンター 医師

他(順不同・敬称略)

最新の開催情報をアイビー千葉ホームページでご確認下さい。当日の会場飛び込み参加はご遠慮下さい。
会場内はマスクの着用にご協力をお願いします。発熱等、体調のすぐれない方は、参加をお控え下さい。

医療者と患者のパートナーシップについて 共に考える乳がん患者・医療者を募ります

